**ディレクトリの操作　その2**

**■ディレクトリを作成する**

mkdirコマンドを使用します。「Make Directory」の略です。

|  |
| --- |
| mkdir 【作成するディレクトリのパス】 |

■複数のディレクトリを一度に作成する

mkdirコマンドの引数に複数のディレクトリを指定すれば一度に複数のディレクトリを作成できます。例えば、カレントディレクトリの下に「Sample1」「Sample2」という2つのディレクトリを作成するには下記のようにします。

|  |
| --- |
| mkdir Sample1 Sample2 |

■階層の深いディレクトリを一気に作成する

階層の深いディレクトリを作成するには「-p」を付ければ途中ファイルがなくても一気に階層の深いディレクトリが作成できます。指定方法は下記の通りです。

|  |
| --- |
| mkdir –p Sample3/Muisc/Rock |

■複数のコマンドを1行で実行する。

複数のコマンドを実行する場合、必ずしも1行ずつ実行する必要はありません。コマンドをセミコロンで「;」区切ることにより、1行のコマンドラインで複数のコマンドを連続実行できます。下記の例ではmkdirコマンドで「Sample4」ディレクトリを作成してcdコマンドでそのディレクトリに移動します。

|  |
| --- |
| mkdir Sample4; cd Sample4 |

■ディレクトリを削除

ディレクトリを削除する場合は、「rmdir」コマンドを使用します。「Remove Directory」の

略です。

|  |
| --- |
| rmdir 【削除するディレクトリのパス】 |

■ディレクトリを丸ごと削除する

ファイルマネージャーでフォルダを削除する時はフォルダごとゴミ箱にドラッグ＆ドロップすればいいですが、シェルでは中のファイルを全て削除してからではないとディレクトリを削除できません。ファイルを削除するrmコマンドに「-r」を指定して実行すれば、サブディレクトリを含めてディレクトリを丸ごと削除できます。ただし、デスクトップ上でゴミ箱に入れるのとは異なり、削除したファイルは元に戻せません。

|  |
| --- |
| rm –r 【削除するディレクトリのパス】 |

**■ファイルの属性を変えないでコピー**

cpコマンドでオプションを付けずにファイルをコピーすると、元のファイルの更新日時やアクセス権限といった情報がクリアされてしまいます。例えば、コピー先のファイルの更新日時は、コピーを行った日時になってしまいます。元のファイルの属性を保持したままコピーしたい場合は「-p」を指定します。指定の仕方は下記の通りです。

|  |
| --- |
| cp -p【コピー元のファイルパス】【コピー先のファイルパス】 |

**■ディレクトリを丸ごと別のディレクトリにコピーする**

cpコマンドは、ディレクトリを丸ごと別のディレクトリにコピーするといった場合にも使えます。ディレクトリを丸ごとサブディレクトリを含めてコピーしたい場合は「-R」を指定します。指定の仕方は下記の通りです。

|  |
| --- |
| cp –R 【コピー元のディレクトリのパス】【コピー先のディレクトリのパス】 |

■**ワイルドカードを使ったコピー**

カレントディレクトリの中の拡張子が「.txt」のファイルだけをSampleディレクトリにコピーするには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| cp \*.txt Sample |

カレントディレクトリの中の拡張子を除いたファイル名が3文字で、拡張子が「.txt」のファイルだけをSampleディレクトリにコピーする場合は下記のように指定します。

|  |
| --- |
| cp ???.txt Sample |

■**カレントディレクトリの全てのファイルをコピーする**

カレントディレクトリを示す「.」をコピー元に指定し、「-R」で丸ごとコピーします。

|  |
| --- |
| cp –pR Sample |

**■ファイルの移動**

あるファイルを別のディレクトリに移動するにはmvコマンドを使用します。指定の仕方は下記の通りです。

|  |
| --- |
| mv 【元のファイルパス】【移動先のディレクトリ】 |

■**名前の変更**

mvコマンドは、移動だけではなくファイル名を変更するという概念もあります。例えば、test1.txtというファイル名をtest2.txtという名前に変更する場合、指定の仕方は下記の通りです。

|  |
| --- |
| mv AAA.txt BBB.txt |

■**ディレクトリを別のディレクトリに移動する**

mvコマンドで移動できるのは通常ファイルだけではなく、ディレクトリを丸ごと移動することもできます。cpコマンドでコピーする場合と異なり、「-R」は不要です。例えば、「Sample3/Muisc/Rock」ディレクトリの中の「Rock」ディレクトリを「Sample4」ディレクトリの下に「MvRock」ディレクトリとして移動すには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| mv Sample3/Music/Rock Sample4/MvRock |

**■複数のディレクトリを移動する**

例えば、「test1.txt」と「test2.txt」という2つのファイルを「Sample1」ディレクトリに移動するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| mv test1.txt test2.txt Sample1 |

■**ワイルドカードを使って移動する**

cpコマンドと同じく、mvコマンドも移動するファイルを「\*」「?」といったワイルドカードを使って指定することができます。例えば、カレントディレクトリの中で拡張子が「.txt」の全てのファイルを「Sample4」ディレクトリに移動するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| mv \*.txt Sample4 |

拡張子を除いたファイル名3文字で、拡張子が「.txt」の全てのファイルを「Sample4」ディレクトリに移動するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| mv ???.txt Sample4 |